

中学校 国語 「言葉の力」パワーアップシート 1 解答解説

一 次のアからエの文では、() () の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選びなさい。

- ア 長い間休んでいたのので、仕事がすっかり
(1) とどこおって (2) いきどおって (3) にえたぎって (4) とりまぎれてしまっていた。

イ 習いたての
(1) まがまがしい (2) たどたどしい (3) にぎにぎしい (4) しらじらしい
英語だったが、現地の人とどうにかコミュニケーションをとることができた。

ウ 心の中の思いを五・七・五・七・七の短歌の形に
(1) つまんで (2) つもって (3) つむいで (4) つかんで) 伝える。

エ そんな大変な仕事は
(1) 一期一会 (2) 一朝一夕 (3) 一進一退 (4) 一喜一憂) にできるものではない。

二 次の文中の——線部は間違っている。正しい表現に直しなさい。

Aさんが今学期の終わりに転校するらしいということを、小耳につまんだ。

解答欄

一	ア
1	イ
2	ウ
3	エ
2	

二	はさんだ
---	------



©岡山県「ももっち」

正答の意味を確かめよう。

一 ア とどこおる⇨途中でつかえて進まない。
イ たどたどしい⇨確かでない。危なっかしい。おぼつかない。
ウ つむぐ⇨作り上げる。生み出しつなげていく。
エ 一朝一夕⇨「いっちょよういっせき」と読む。ひと朝かひと晩。わずかな月日。

二 小耳にはさむ⇨聞くとはなしに聞く。偶然に聞く。

中学校 国語 「言葉の力」パワーアップシート 2 解答解説

一 次のアからエの文では、() () の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選びなさい。

ア いつまでも意地を(1 張る 2 食う 3 取る 4 立てる)よりも、素直に謝った方がいいよ。

イ 先週買った新しい靴が、ようやく足に(1 にじん で 2 ほころん で 3 なごん で 4 なじん で)きた。

ウ 新学期が始まるのを、私は(1 胸 2 息 3 ひざ 4 声)をはずませて待っている。

エ 人生を登山に(1 たずさえる 2 わきまえる 3 なぞらえる 4 すりかえる)なら、今はまだ二合目あたりだろう。

三 次の文中の——線部は間違っている。正しい表現に直しなさい。

授業参観日に忘れ物をしてしまい、ずいぶんきまりが狭い思いをした。

解答欄	一	ア	イ	ウ	エ
	1	4	1	3	

二	悪い
---	----



岡山県「もち」

正答の意味を確かめよう。

- 一
- ア 意地を張る || 自分の思うことを通そうとする。
 - イ なじむ || しっくりする。調和する。とけあう。
 - ウ 胸をはずませる || わくわくする。
 - エ なぞらえる || 仮に別のものとして見る。同類として見立てる。
- 二
- きまりが悪い || 面目が立たない。何となく恥ずかしい。

中学校 国語 「言葉の力」パワーアップシート 3 解答解説

一 次のアからエの文では、() 中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選びなさい。

ア 彼女は、突然届いた悲しい知らせに、
(1) せり上げて (2) しゃくり上げて (3) でっち上げて (4) たたき上げていた。

イ ぼくはその時、自分の本当の気持ちを言うことに、
(1) いさかい (2) かねあい (3) ふるまい (4) ためらい()を感じていた。

ウ 魚は一度に
(1) あわただしい (2) けたたましい (3) おびたしい (4) かいがいしい()卵を産む。

エ 私は、プロの野球選手がホームランを打つ瞬間を
(1) 間 (2) 真 (3) 魔 (4) 目()の当たりにし、とても感動した。

二 次の文中の——線部は間違っている。正しい表現に直しなさい。

父は、一人暮らしをしていた私に、三日にあかず手紙を書いてよこした。

解答欄
一
2 ^ア
4 ^イ
3 ^ウ
4 ^エ

二
あげず



©岡山県「ももっち」

正答の意味を確かめよう。

一 ア しゃくり上げる || 息を急に吸い込むような声で、肩をふるわせて泣く。

イ ためらい || あれこれ迷って決心がつきかねること。

ウ おびたしい || 数量が非常に多い。

エ 目^まのあたり || 目の前。眼前。

二 三日にあげず || 間をあけず。度々。

中学校 国語 「言葉の力」パワーアップシート 4 解答解説

一 次のアからエの文では、() の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選びなさい。

ア 英国生まれのAさんは二十年間日本に住んでいるので、彼の日本語には
(1) 年限 (2) 年代 (3) 年輪 (4) 年季) が入っている。

イ 君がご飯をごちそうしてくれるなんて、今日は随分
(1) 気さく (2) 気前 (3) 氣勢 (4) 気まま) がいいね。

ウ 目標を達成しようと思ったら、それに向かって
(1) いささか (2) さながら (3) ひたすら (4) くしくも) 努力することが
大切だ。

エ 無人駅のホームに降りると、
(1) さもしい (2) わびしい (3) ひもじい (4) やましい) 光景が広がっていた。

二 次の文中の——線部は間違っている。正しい表現に直しなさい。

会長候補として、白羽の矢が飛ぶ。

解答欄	一	ア	イ	ウ	エ
	4	2	3	2	
	二	立つ			

正答の意味を確かめよう。



一 ア 年季が入る——一つの仕事に長年従事して、腕が確かである。

イ 気前——さっぱりとした気性。特に、金銭などを惜しまずつかう気性。

ウ ひたすら——ただそればかり。いちず。

エ わびしい——心細い。頼りない。もの悲しい。

二 白羽の矢が立つ——多くの人の中で、これぞと思う人が特に選り定められる。

中学校 国語 「言葉の力」パワーアップシート 5 解答解説

一 次のアからエの文では、() の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選びなさい。

ア 私は、試合前に骨折をしてしまい、
 (1 やるせない 2 はかない 3 しがない 4 ほかならない)
 気持ちになった。

イ 昨日も今日も雨で、気が(1 回る 2 きく 3 すむ 4 めいる)。

ウ 鍵が見つからないと思って家中探し回ったが、今着ている上着のポケットに入っていた。
 (1 論より証拠 2 急がば回れ 3 転ばぬ先のつえ 4 灯台下暗し) だね。

エ あの人は、自分のことを(1 天井 2 屋根裏 3 棚 4 軒)に上げて、
 人の批判ばかりしている。

二 「河童かっぱの川流れ」に似た意味のことわざを一つ答えなさい。

似た意味のことわざは、他にもあるよ。調べてみると面白いよ。



©岡山県「ももっち」

解答欄

一	ア	イ	ウ	エ
1	4	4	3	

二	猿も木から落ちる じょうず 上手の手から水が漏る こうぼう 弘法(に)も筆の誤り など
---	--



©岡山県「ももっち」

正答の意味を確かめよう。

一 ア やるせない 心のやりどころがない。思いを晴らす方法がない。
 イ 気がめいる 元気をなくして、憂鬱ゆううつな気持ちになる。
 ウ 灯台下暗し 灯台とうだい(燭台しょうたい)の直下は明かりが暗いように、手近の事情はかえって分かりにくいものである。

エ 棚たなに上げる 不都合なことには触れないで、そのままにしておく。

二 河童かっぱの川流れ 達人も時には失敗を招くことがある。

中学校 国語 「言葉の力」パワーアップシート 6 解答解説

□ 次のアからエの文のうち、「」の中の言葉が最も正しい使い方をされているものを、それぞれ一つ選びなさい。

ア 「いずれ」

- 1 今から二十年後の世界がどうなっているかなんて、いずれ想像もつかない。
- 2 彼がそんなことをするなんて、いずれ信じられない。
- 3 AさんとBさんのどちらが正しいか、いずれ分かることだ。

イ 「戸惑う」

- 1 わたしの思いがけない質問に、彼は一瞬戸惑ったような顔をした。
- 2 みんなを先に行かせ、わたしはその場に一人で戸惑った。
- 3 雑用を片づけるのに随分戸惑ってしまい、帰るのが遅くなった。

ウ 「どうてい」

- 1 彼の本当の気持ちなど、君にはどうてい分かるまい。
- 2 紅葉した木々が、どうてい燃えているように山を彩っている。
- 3 こんなに雪が降っているのは、どうてい客足は遠のいてしまうだろう。

エ 「やり過ぎす」

- 1 嫌われているかもしれないなんて、それは君のやり過ぎしだよ。
- 2 夜ふかししたので、次の朝はやり過ぎしてしまった。
- 3 混んでいたバスを二、三台やり過ぎして、すいたのに乗った。

□ 「戸惑う」の類義語を、「惑」の字を含んだ二字熟語で答えなさい。

□	ア	3
□	イ	1
□	ウ	1
□	エ	3

□	当惑 または 困惑
---	-----------



意味を確かめよう。

□ ア いずれ 〓 いつとは言えないが、近い将来。そのうちに。

イ 戸惑う 〓 手段や方法を思いつかないでまごつく。

ウ どうてい 〓 (あとに否定の語を伴う) いかにしても。どうしても。とても。

エ やり過ぎす 〓 ある状態が経過するにまかせる。

2は「どどまった」
3は「手間取って」
に変わると意味が通じるね。

「どうてい」は、
打ち消しの言葉
(否定の語)とセ
ットで使われる
よ。

1は「思い過ぎ」
2は「寝過ぎして」
に変わると意味が
通じるね。



©岡山県「ももっち」



©岡山県「ももっち」



©岡山県「ももっち」

中学校 国語 「言葉の力」パワーアップシート 7 解答解説

一 次のアからエの文のうち、「 」の中の言葉が最も正しい使い方をされているものを、それぞれ一つ選びなさい。

ア 「鮮烈」

- 1 生ものは傷みやすいので、鮮烈なうちに食べた方がよい。
- 2 サッカー部に入ったAさんは、毎日鮮烈に練習した。
- 3 彼はデビュー戦でホームランを打ち、鮮烈な印象を与えた。

1は「新鮮」
2は「猛烈」
に変えると
意味が通じ
るね。



©岡山県「ももっち」

イ 「むさぼる」

- 1 Aさんは、むさぼるように本を読みあさった。
- 2 Bさんは、部活をむさぼって帰ってしまった。
- 3 Cさんは、賞品のノートを両手いっぱいむさぼった。

ウ 「根掘り葉掘り」

- 1 私の好きな食べ物や好きな本などを、根掘り葉掘り聞かれた。
- 2 子供たちが遊んだ後の部屋は、根掘り葉掘り散らかっていた。
- 3 Aさんは、運動会の各競技で根掘り葉掘りの大活躍をした。

エ 「尋常」

- 1 尋常から体を鍛えておくことが大切だ。
- 2 今年の夏の暑さは尋常ではない。
- 3 尋常な事態に備えて訓練をする。

1は「日常」、
3は「異常」や「非常」
に変えると意味が通じ
るね。



©岡山県「ももっち」

二 「尋常」の対義語を、「常」の字を含んだ二字熟語で答えなさい。

解答欄

一	ア	3	イ	1	ウ	1	エ	2
---	---	---	---	---	---	---	---	---

二	異常 または 非常
---	-----------



©岡山県「ももっち」

意味を確かめよう。

一 ア 鮮烈⇨強烈ではっきりしているさま。

イ むさぼる⇨満足することなく欲し続ける。がつがつ食べる。

ウ 根掘り葉掘り⇨根本から枝葉に至るまで、残らず。しつこく。執拗しつように問いただすさまに言う。

エ 尋常⇨普通。並。

中学校 国語 「言葉の力」パワーマップシート 8 解答解説

【一】 次のアからエの文のうち、「」の中の言葉が最も正しい使い方をされているものを、それぞれ一つ選びなさい。

ア 「心もとない」

- 1 たくさんの人が試合の応援に来てくれて、心もとない。
- 2 あの人がきちんと責任を果たしてくれるかどうか、心もとない。
- 3 あの人にはずいぶん迷惑をかけてしまって、心もとない。

1は「心強い」
3は「心苦しい」
に変えると意味が通じるね。

イ 「すこぶる」

- 1 この料理はすこぶるおいしい。
- 2 呼び出しを受けてすこぶるかけつけた。
- 3 すこぶる明日は雨になるだろう。

1は「とっておきの」
に変えると意味が通じるね。

ウ 「とって付けたよう」

- 1 今日はお客様のために、心を込めてとって付けたような品物を用意した。
- 2 蓮の葉の上を転がる朝露は、とって付けたような美しさだ。
- 3 彼は遅刻の理由を問われて、とって付けたような言い訳をした。

エ 「沈着」

- 1 弟は、母に叱られて沈着な表情をしていた。
- 2 予想外の出来事にも、沈着に行動する。
- 3 嵐で流された舟が、離れ小島に沈着する。

1は「沈鬱」、3は「漂着」
に変えると意味が通じるね。

【二】 「沈着」の二字を含む、似た意味の四字熟語を一つ答えなさい。

解答欄

一	ア	2
	イ	1
	ウ	3
	エ	2

二	冷静沈着 または 沈着冷静
---	---------------

意味を確かめよう。

【一】 ア 心もとない⇨物足りず、不満に思われる。また、不安である。

イ すこぶる⇨おびただしく。はなはだ。よほど。

ウ とって付けたよう⇨無理にあとから付け加えたように、わざとらしく不自然なさま。

エ 沈着⇨落ちついていること。物事に動じないこと。



©岡山県「ももっち」



©岡山県「ももっち」



©岡山県「ももっち」



©岡山県「ももっち」

中学校 国語 「言葉の力」パワーアップシート 9 解答解説

□ 次のアからエの文のうち、「 」の中の言葉が最も正しい使い方をされているものを、それぞれ一つ選びなさい。

ア 「腕を振るう」

- 1 本番で実力が出せるように、日々腕を振るっている。
- 2 今日は家族のために、私が腕を振るって夕食を作った。
- 3 不正なことが腕を振るってまかり通るのは良くない。

1は「腕を磨いて」
3は「大手を振って」
に変えると意味が通じるね。



イ 「せわしい」

- 1 年末の商店街は、新年の準備をする人がせわしく行き交っていた。
- 2 風邪で寝込んでいる私に、こんなにせわしくしてくれてありがとう。
- 3 事情がよく理解できないので、せわしく説明してくれませんか。

2は「世話をして」
3は「詳しく」
に変えると意味が通じるね。

ウ 「うやうやしい」

- 1 社長が部屋に入ってきたとき、社員たちはうやうやしくおじぎをした。
- 2 Aさんは毎年海外旅行に出かけると聞いて、私はとてもうやうやしく思った。
- 3 物事をうやうやしくしておくのは嫌いなので、はつきり決着をつけたい。

エ 「胸を打つ」

- 1 一点差で試合に敗れ、悔しさのあまり胸を打った。
- 2 私の頼み事を、彼は胸を打って引き受けてくれた。
- 3 オークストラの素晴らしい演奏が私の胸を打った。

2は「うらやましく」
3は「うやむやに」
に変えると意味が通じるね。



□ 「腕」という言葉が入り、「自分の技量・力量に自信がある」という意味の慣用句は何か。
() に当てはまる言葉を書きなさい。

腕に () がある。

解答欄

□	ア	イ	ウ	エ
2	1	1	3	

□	腕に () 覚え () がある。
---	--------------------



©岡山県「ももっち」

意味を確かめよう。

-
- ア 腕を振るう 〓 手腕を発揮する。腕前を十分にあらわす。
- イ せわしい 〓 忙しい。ゆったりしていない。せかせかしている。
- ウ うやうやしい 〓 礼儀にかなって丁寧である。
- エ 胸を打つ 〓 感動する。感動させる。

中学校 国語 「言葉の力」パワーアップシート 10 解答解説

一 次のアからエの文のうち、「」の中の言葉が最も正しい使い方をされているものを、それぞれ一つ選びなさい。

ア 「すずめの涙」

- 1 葉の上の朝露がすずめの涙のように美しい。
- 2 カニスープと書いてあるのに、カニはすずめの涙ほどこ入っていない。
- 3 小説に感動して、私はすずめの涙を流した。

イ 「頭が下がる」

- 1 期末試験の準備ができていないことを考えると、頭が下がる。
- 2 試合で痛恨のエラーをしてしまって、頭が下がる。
- 3 Aさんの、いつもまじめで正直な態度には頭が下がる。

ウ 「かんで含める」

- 1 授業の内容が、かんで含めるようによく分かるようになった。
- 2 機械の使い方を、かんで含めるようにていねいに説明した。
- 3 試験前日になって、かんで含めるようにあせって勉強をした。

エ 「辞去」

- 1 危険なものがあれば、すべて辞去しなければならぬ。
- 2 私は委員長に推薦されたが、自信がないので辞去した。
- 3 知人の家を訪問していたが、夕方になったので辞去した。

二 「顔」の部首の部分を書きなさい。また、その部首の名前をひらがなで答えなさい。

「辞去」は、「じきよ」と読むよ。
1は「除去」
2は「辞退」
に変わると意味が通じるね。



©岡山県「ももっち」

解答欄

一	ア	イ	ウ	エ
2		3	2	3

二	部首	部首の名前
頁		おおが



©岡山県「ももっち」

意味を確かめよう。

一 ア すずめの涙 〓 ごくわずかなものたとえ。

イ 頭が下がる 〓 敬服する。感心させられる。

ウ かんで含める 〓 十分に理解するように言い聞かせる。

エ 辞去 〓 別れを告げて立ち去ること

中学校 国語 「言葉の力」パワーマップシート11 解答解説

■ 次の文章を読んで、問一から三に答えなさい。

谷川の岸に、小さな学校がありました。^①
 教室はたった一つでしたが生徒は三年生が、ないだけで、あとは一年から六年までみんなあまりました。運動場もテニスコートのくらいでしたが、すぐうしろは栗の木のある、きれいな草の山でしたし、運動場のすみには、ごぼごぼつめたい水を噴く岩穴もあつたのです。

(宮沢賢治「風の又三郎」より)

問一 —— 線部①、③、④の品詞をそれぞれ答えなさい。

「小さな」は連体詞、「小さい」は形容詞。区別しよう。
 「きれいな」は、形容動詞
 「きれいだ」の連体形だね。



©岡山県「ももっち」

トライシート一 — ⑤ 三文法 — 単語の分類
 二 — ② 三文法 — 品詞の識別
 三 — ④ 三文法 — 品詞の識別

問二 —— 線部②「教室はたった一つでしたが」を単語に分けるといくつになりますか。漢数字で答えなさい。

「教室・は・たった・一つ・でし・た・が」と分けられる



©岡山県「ももっち」

トライシート一 — ② 三文法 — 単語分け

問三 —— 本文から外来語を抜き出して書きなさい。

外来語とは、「漢語以外で外国語から日本語に取り入れられた語」のことだよ。



©岡山県「ももっち」

トライシート三 — ① 和語・漢語・外来語

解答欄

問一	①	連体詞	③	形容詞	④	形容動詞
----	---	-----	---	-----	---	------

問二	七(つ)	問三	テニスコート
----	------	----	--------

中学校 国語 「言葉の力」パワーアップシート12 解答解説

■ 次の文章を読んで、問一から三に答えなさい。

ある日の事で、^①「ごさいます。御釈迦様は極楽の蓮池のふちを、独りでぶらぶら御歩きになつていらつしやいました。池の中に咲いている蓮の花は、みんな玉のようにまつ白で、そのまん中にある金色の蕊からは、何とも云えない好い匂が、絶間なくあたりへ溢れて居ります。極楽は丁度朝なのでごさいますよう。

やがて御釈迦様はその池のふちに御佇みになって、水の面を蔽っている蓮の葉の間から、ふと下の容子を、^②御覧になりました。この極楽の蓮池の下は、丁度地獄の底に当つて居りますから、水晶のような水を透き徹して、三途の河や針の山の景色が、丁度覗き眼鏡を見るように、はつきりと見えるのでごさいます。

(芥川龍之介「蜘蛛の糸」より)

問一 —— 線部①「ごさいます」は敬語ですが、次のアからウのどれに当てはまりますか。最も適切なものをも一つ選び、記号で答えなさい。

ア 尊敬語

イ 謙讓語

ウ 丁寧語

「丁寧な言い方で相手への敬意を表す」のが丁寧語だね。



トライシート一 — ① — 二 — 敬語
二 — ③ — 一 — 敬語

問二 —— 線部②「御覧になりました」とありますが、「御覧になる」を、敬意を含まない言い方に直しなさい。

「御覧になりました」↓「見ました」
「御覧になる」↓「見る」
よく問題を読んでね。



トライシート一 — ① — 二 — 敬語
トライシート二 — ③ — 一 — 敬語

問三 本文中にある比喩表現をすべて抜き出して書きなさい。

解答欄



トライシート一 — ⑤ — 一 — さまざまな表現技法

問一	ウ
問二	見る
問三	玉のように・水晶のような・ (丁度) 覗き眼鏡を見るように

中学校 国語 「言葉の力」パワーアップシート13 解答解説

■ 次の文章を読んで、問一から三に答えなさい。

——人間の心には互^{たがい}に①した二つの感情がある。勿論^{もちろん}、誰でも他人の不幸に同情しない者はない。所^{ところ}がその人がその不幸を、どうにかして切りぬける事が出来ると、今度はこっちで何となく物足りないような心もちがする。少し誇張^②して云^いえば、もう一度その人を、同じ不幸に陥^{おとし}れて見たいような気にさせな^る。そうしていつの間にか、消極^③的ではあるが、ある敵意をその人に対して抱くような事になる。——内供^{ないぐ}が、理由を知らないながらも、何となく不快に思ったのは、池の尾の僧俗の態度に、この傍観者の利己主義をそれとなく感づいたからにはかならない。

(芥川龍之介「鼻」より)

問一 ①には次のアからウのうちどれが入りますか。最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 蛇足 イ 矛盾 ウ 推敲^{すいこう}

「勿論」から後の部分を読んで考えよう。他人の不幸に対して相反する気持ちがあるという内容だから「矛盾」が当てはまるね。



©岡山県「ももっち」

たしかめシート一—④— 故事成語

問二 ——線部②「誇張して」を言いかえると、次のアからウのうちどれになりますか。最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 分かりやすく イ 気を引きしめて ウ おおげさに

問三 ——線部③「消極的」の対義語を漢字で書きなさい。

「上」と「下」のように、反対の意味をもつ二語を「対義語」と言っよ。



©岡山県「ももっち」

トライシート二—①— 対義語

解答欄

問一	イ	問二	ウ	問三	積極的
----	---	----	---	----	-----

■ 次の文章を読んで、問一から四に答えなさい。

すると、一生懸命にのぼった甲斐があつて、さつきまで自分がいた血の池は、今ではもう暗の底にいつの間にかかくれて居ります。それからあの ぼんやり光っている恐しい針の山も、足の下になつてしまいました。この分でのぼつて行けば、地獄からぬけ出すのも、存外わけがないかも知れません。犍陀多は両手を蜘蛛の糸にからみながら、ここへ来てから何年にも出した事のない声で、
 「しめた。しめた。」と笑いました。ところがふと気がつきますと、蜘蛛の糸の下の方には、数限もない罪人たちが、自分ののぼった後をつけて、まるで蟻の行列のように、やはり上へ上へ一心によじのぼつて来るではございませんか。犍陀多はこれを見ると、驚いたのと恐しいのとで、しばらくはただ、莫迦のように大きな口を開いたまま、眼ばかり動かして居りました。自分一人さえ断れそうな、この細い蜘蛛の糸が、どうしてあれだけの人数の重みに堪える事が出来ましょう。

(芥川龍之介「蜘蛛の糸」より)

問一 — 線部①「ぼんやり」の品詞を答えなさい。

活用せず、「光る」という用言を修飾しているね。



トライシート一—⑤—
 文法—単語の分類
 トライシート二—②—③—
 文法—品詞の識別

問二 — 線部②「しめた。しめた。」と笑いました」とありますが、このような笑いを

表す言葉として最も適切なものをアからウまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 苦笑いする イ ほくそ笑む ウ 嘲笑する

問三 — 線部③「まるで蟻の行列のように」で使われている表現技法を次のアからウま

での中から一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 直喩 イ 隱喩 ウ 擬人法

「まるで」「よゆうだ」などの言葉を使ったとえることを「直喩」というよ。



トライシート一—⑤—
 さまざまな表現技法

問四 — 線部④「の」と同じ用法のものをアからウまでの中から一つ選び、記号で答え

なさい。
 ア それは、私の本です。
 イ 私は、コーヒーは熱いのが好きです。
 ウ 彼の歩んできた道は、平坦ではなかった。

「もの」「や」と「に」置きかえられるね。



トライシート二—⑤—
 文法—助詞

解答欄

問一	副詞	問二	イ	問三	ア	問四	イ
----	----	----	---	----	---	----	---

■ 次の文章を読んで、問一から三に答えなさい。

御積迦様は極楽の蓮池のふちに立って、この①一部始終をじつと見ていらつしやいましたが、やがて犍陀多が血の池の底へ石のように沈んでしまいますと、悲しそうな御顔をなさりながら、またぶらぶら御歩きになり始めました。自分ばかり地獄からぬけ出そうとする、犍陀多の②無慈悲な心が、そうしてその心相当な罰をうけて、元の地獄へ落ちてしまったのが、御積迦様の御目から見ると、浅間しく思召されたのでございましょう。

しかし極楽の蓮池の③蓮は、少しもそんな事には頓着致しません。その玉のような白い花は、御積迦様の御足のまわりに、ゆらゆら萼を動かして、そのまん中にある金色の蕊からは、何とも云えない好い匂が、絶間なくあたりへ溢れて居ります。極楽ももう午に近くなったのでございましょう。
(芥川龍之介「蜘蛛の糸」より)

問一 —— 線部①「一部始終」の意味として最も適切なものをアからウまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 始めから終わりまで全部
- イ 始めと終わりの部分だけ
- ウ 始まってからほんの一部



トライシート三—⑤—四字熟語

問二 —— 線部②「無慈悲」は「慈悲」に打ち消しの「無」を付けたものですが、同じように、上に打ち消しの漢字を付けることのできる熟語があります。次の(1)から(3)には、それぞれの打ち消しの漢字を付けたらよいでしょうか。最も適切なものをアからエまでの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 完成 (2) 常識 (3) 人気
- ア 無 イ 不 ウ 未 エ 非

他に「非公開」「無関係」「不公平」など、いろいろな例があるね。



問三 —— 線部③「蓮は、少しもそんな事には頓着致しません」で使われている表現技法を次のアからウまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 体言止め イ 直喩 ウ 擬人法

植物の「蓮」を人間にたとえているね。



トライシート一—⑤—さまざまな表現技法

解答欄



問一	ア	問二	(1)	ウ	(2)	エ	(3)	イ	問三	ウ
----	---	----	-----	---	-----	---	-----	---	----	---

中学校 国語 「言葉の力」パワーマップシート16 解答解説

■ 次の1と2は、石川啄木の短歌です。これを読んで、問一から三に答えなさい。

1
心より今日は逃げ去れり
病ある獣の(とき)
不平逃げ去れり

2
はたらけど
はたらけど猶わが生活 楽にならざり
ちっと手を見る

「逃げ去れり」の**反復**(繰り返し)があるね。

「とき」は「ような」と同じ意味だから、**直喩**だね。

問一 1の短歌で使われている表現技法を次のアからエまでのの中から二つ選び、記号で答えなさい。(ただし、解答の順序は問わない。)

- ア 反復 イ 体言止め ウ 直喩 エ 倒置



トライシート⑤ さまざまな表現技法

問二 2の短歌の句切れはどこですか。①から③までのの中から一つ選び、番号で答えなさい。

意味が大きく切れるところを「句切れ」と言つよ。この短歌は、「働いても働いても、私の生活は楽にならない。じっと手を見る。」という意味だね。だから、「楽にならざり(楽にならない)」の**後**で意味が切れるよ。



問三 石川啄木の作品を次のアからウまでのの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「みだれ髪」 イ 「赤光」 ウ 「一握の砂」

アは与謝野晶子、イは斎藤茂吉の作品だね。



解答欄

問一	ア	ウ <small>(順不同)</small>	問二
		③	問三
			ウ

中学校 国語 「言葉の力」パワーアップシート17 解答解説

■ 次の文章を読んで、問一から四に答えなさい。

六月中旬の事であった。ある日仕事をしていると子供が呼びに来た。猫をもらって来たから見に来いというのである。行って見るともう ^①かなり生長した三毛猫である。おおぜいが ^②車座クルマになってこの新しい同棲者どうせいきやの一举一動を好奇心に満たされて環視かんししているのであった。 (中略)

畳の上におろしてやると、もうすぐそこにある紙切れなどにじやれるのであった。その挙動はいかにも軽快でそして優雅に見えた。人間の子供などはとても、自分のからだをこれだけ典雅グレースフルに取り扱われようと思われない。英国あたりの貴族はどうだか知らないが。

それでいて一挙一動がいかに子供供しているのである。人間の子供の子供らしさと、どことは明らかに名状し難いところに著しい類似③がある。

のら猫の子に比べてなんとという著しい ^④タイシヨウタイシヨウだろう。彼は生まれ落ちると同時に人類を敵として見なければならぬ運命を ^④授けられるのに、これははじめから人間の好意に絶対の信頼をおいている。見ず知らずの家にもらわれて来て、そしてもうそこをわが家として少しも疑わず恐れてもいない。どんなにひどく扱われても、それはすべてよい意味にしか受け取られないように見えるのである。

(寺田寅彦「ねずみと猫」より)

問一 — 線部①「かなり」の品詞を書きなさい。

活用せず、「生長する」という
用言を修飾しているね。



トライシート一 — ⑤ 三 文法 — 単語の分類
二 — ② 三 文法 — 品詞の識別

問二 — 線部②「車座」の読みをひらがなで書きなさい。また、この熟語の読み方として最も適切なものをアからエまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 音と音 イ 訓と訓 ウ 重箱読み

エ 湯桶読み

「くるまげ」は上が訓、下が音だから湯桶読みだね。



トライシート三 — ① 三 熟語の読み方

問三 — 線部③「タイシヨウ」を漢字に直し、楷書でていねいに書きなさい。

「対称」や「対象」と区別しよう。
「こ」では、「互いに対立する二つの要素がきわだつ」と「こ」という意味の「対照」が当てはまるね。



トライシート二 — ④ 二 同音異義語

問四 — 線部④「授けられるのに」とありますが、「授ける」の類義語として最も適切なものをアからウまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 与える イ 受ける ウ たずさえる

「受ける」は「授ける」の対義語だね。



トライシート二 — ① 三 類義語

解答欄

問一	副詞	問二	読み くるまげ	記号 エ	問三	対照	問四	ア
----	----	----	------------	---------	----	----	----	---

■ 次の文章を読んで、問一から三に答えなさい。

高瀬舟たかせぶねは京都の高瀬川を上下する小舟である。徳川時代とくがわに京都の罪人が遠島えんとうを申し渡さ①れると、本人の親類が牢屋敷ろうやしきへ呼び出されて、そこでいとまごい②をすることを許された。それから罪人は高瀬舟に乗せられて、大阪おおさかへ回されることであった。それを護送③するのは、京都町奉行の配下にいる同心で、この同心は罪人の親類のうちで主いちにんだった一人を、大阪まで同船させることを許す慣例であった。これは上かみへ通ったことではないが、いわゆる大目に見るのであった、黙許もくじょであった。

(森鷗外もりおうがい「高瀬舟」より)

問一 —— 線部①「れる」と同じ働き・意味の「れる」が含まれるものを、次のアからウまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア かごの鳥が野に放たれる。
- イ 先生が黒板に字を書かれる。
- ウ 昔のことがふと思い出される。

アは受け身、イは尊敬、ウは自発だね。



たしかめシート二—⑤—助動詞

問二 —— 線部②「いとまごいをする」の意味として最も適切なものを次のアからウまでのの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 食べ物やお金を与える
- イ 別れのあいさつをする
- ウ 刑罰を軽くしてもらう

問三 —— 線部③「護送」とありますが、「護」の「つくり」と組み合わせるとき、別の常用漢字となる「へん」は、アからウのうちではどれですか。最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。また、選んだ「へん」の名前を答えなさい。

- ア ネ
- イ ャ
- ウ ヌ

獲得の「獲」という字ができるね。



トライシート一—②—漢字の部首

解答欄

問一	ア	問二	イ	問三	記号 ウ	へんの名前 けものへん
----	---	----	---	----	---------	----------------

中学校 国語 「言葉の力」パワーアップシート19 解答解説

■ 次の詩を読んで、問一、二に答えなさい。

初恋 島崎藤村

まだあげ初めし前髪①の
林檎りんごのもとに見えしとき
前にさしたる花櫛はなぐしの
花ある君と思ひけり

やさしく白き手をのべて
林檎りんごをわれに あたへしは
薄紅うすべにいろの秋の実に
人こひ初めしはじめなり

わがこころなきためいき②
その髪の毛にかかるとき
たのしき恋の盃さかづきを
君が情なさけに酌しやくみしかな

林檎りんごの樹この下したに
おのづからなる細道は
誰たが踏みそめしかたみぞと
問ひたまふこそこひしけれ



©岡山県「ももち」

1・2行目は「まだ上げ始めたばかりの前髪が、
林檎の木の下に見えたとき」という意味だね。



©岡山県「ももち」

9・10行目は「私が思わず漏らすためいきが、
その「君」の髪の毛にかかるとき」という意味
だね。



©岡山県「ももち」

この詩は、古文ではないけど
文語で書かれているね。
歴史的仮名遣いが使われて
いるよ。

問一 —— 線部①「の」と同じ働きの「の」を、詩の中の —— 線部アからウまでの中から
一つ選び、記号で答えなさい。

「主語を作る「働き」の「の」だね。



©岡山県「ももち」

たしかめシート二 — ⑤ — 助詞

問二 —— 線部②「あたへし」の読みを現代仮名遣いで書きなさい。



©岡山県「ももち」

トライシート二 — ② — 歴史的仮名遣い

解答欄

問一	ウ	問二	あたえし
----	---	----	------

■ 次の漢詩を読んで、問一から四に答えなさい。ただし、設問の都合で返り点を省略している箇所があります。

春望 杜甫

渾	白	家	烽	恨	感	城	国
欲	頭	書	火	別	時	春	破
不	搔	抵	連	鳥	花	草	山
勝	更	万	三	驚	濺	木	河
簪	短	金	月	心	淚	深	在

国破れて山河在り
 城春にして草木深し
 時に感じては花にも涙を濺ぎ
 別れを恨んでは鳥にも心を驚かす
 烽火三月に連なり
 家書万金に抵る
 白頭搔けば更に短く
 渾べて簪に勝へざらんと欲す

問一 この漢詩の形式を何といいますか。□に当てはまる漢字を書きなさい。

□ 言 □ 詩

八句できてきているから律詩、一句の字数が五字だから五言律詩だね。

問二 押韻している漢字を○で囲みなさい。(本文中に書き込みなさい。)

シン・シン・キン・シンで押韻しているね。

問三 五行目と六行目に返り点を付けなさい。(本文中に書き込みなさい。)

トライシート二③ 漢文 訓読
 トライシート三⑤ 漢文 書き下し文

問四 この漢詩の一部が引用されている松尾芭蕉の作品を次のアからウまでのの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「土佐日記」
- イ 「おくのほそ道」
- ウ 「徒然草」

解答欄

アは紀貫之、ウは兼好法師の作品だね。
 トライシート三⑤ □ 古文 重要作品

問一	五言律詩	問二・問三の答えは本文中にある。	問四	イ
----	------	------------------	----	---